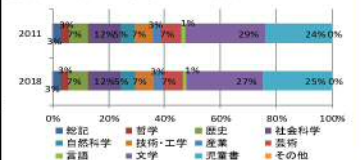




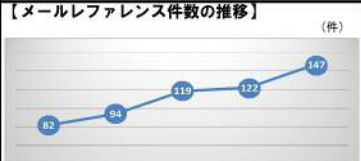



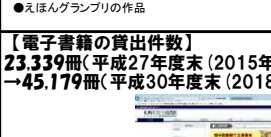


第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況(平成30年度(2018年度))

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度(2018年度)の取組結果(成果・課題)	参考	取組時期(年度)																	
						2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2								
基本方針1 市民の生活や活動に役立つ図書館																							
◆施策の方向性1◆ 幅広い分野の資料の収集																							
1	図書館サービス係	蔵書構成の再構築	限られた財源の中で、幅広く役立つ本を収集するために、次の手順を踏む ◆現状構成の分析 ⇒選定決定手順見直し ⇒選定基準の見直し(複本・保存・更新も含む) なお、全館に関わる事柄であるため、プロジェクトを設立してH24年度末(2012年度末)を目途に検討	【平成30年度(2018年度)取組結果】 平成26年度(2014年度)策定の「蔵書構成の再構築に向けて」の基本方針の実現のため、次のとおり資料の収集選定を行った。 ○寄贈圖書の有効活用により、限られた財源の中でタイトルの確保を進めた。 ○施設数が多く予算も大きい「区民・地区センター図書室」の選書を中央図書館が管理することにより、全体的な観点から効率的な資料収集を図った。  【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○引き続き、蔵書構成の再構築の方針に沿った資料収集を進める。	【蔵書構成の推移】※H30数値集計中 	プロジェクトによる検討	試行実施 委員改正	決定に基づき、逐次収集 蔵書構成の動向と収集計画案の提示	蔵書構成の動向と収集計画案の提示による収集	蔵書構成の動向による再構築の検証													
2	調査相談係	◆郷土・行政資料の積極的な収集 ◆公文書館と連携し、郷土・行政資料を確実に収集  ◆地区図書館、区民・地区センター図書室と連携した郷土・行政資料の収集方針の検討・改善	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○郷土・行政資料の収集は地区図書館等、公文書館も含め、多方面から積極的に情報収集を行い、遺漏がないよう努めた。札幌市出身団体・企業史等の発行情報収集に留意しほか、札幌市のみでなく、市政に生かせるような道内市町村独自の発行物も幅広く収集した。道と連携し行政資料収集を推進した。  【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○引き続き、郷土・行政資料の発行情報把握に努め、公文書館、地区図書館等との連携を継続していく。また、道行政情報センターと引き続き連携し、道の行政資料を収集していく。	【郷土資料数】 92,566点(平成24年度末(2012年度末)) →110,050点(平成30年度末(2018年度末)) 	現状分析 検討・強化	検討結果に基づき、多様な方法により積極的に収集し、配架する。		従来の行政資料の収集に加え、出資団体、指定管理受託者の出版物の積極的収集を推進する。	地区図書館、まちづくりセンター、公文書館等からの情報収集による地域資料の積極的収集。(地域住民が保有している古い資料や地域独自作成の資料、地域情報等の資料収集)	北海道庁の協力による道行政資料収集													
3	調査相談係	◆視聴覚資料の継続的な収集 ◆対応推進 ◆所蔵点数増加に伴う貸出点数増の検討	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○H30年度(2018年度)新規登録点数(H30(2018), 4.1~H31(2019), 3.31) CD:中央図書館ほか4館計848点、DVD(中央図書館のみ)133点。 ○レーザーディスクは視聴する利用者がいるため、今後の状況を見ながら中央図書館閉架書庫(書庫4)に移動させるか検討。 ○図書館用著作権許諾のブルーレイディスクの発売は現在も不透明な状態が続いており、現時点では購入には至らない。 ○視聴コーナーのヘッドフォンを更新  【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○引き続き、棚不足対策においてレーザーディスク保管場所移動を検討。 ○厳しい財政状況の中での収集方針の検討。 ○図書館用として著作権許諾されたブルーレイディスクの発売は、将来的に不透明な状態が続いており、今後の動向を注視していく。	【視聴覚資料数の推移】 	機器更新	新メディア(ブルーレイ)への対応検討の継続		視聴覚ベースの将来展望の検討	ちえりあ所蔵CDとの合体貸出。(約10000点)	保存庫の確保	視聴覚資料収集方針の検討	貸出点数の検討											
◆施策の方向性2◆ 分かりやすく、使いやすい情報提供																							
4-①	調査相談係	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供(紙媒体とHP版)	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○中央図書館老朽化に伴う改修工を終了に伴い、商用データベースの利用件数はこれまでの件数を大きく上回る結果となった。さらに、平成30年(2018年)10月に開館した図書・情報館では、24種のデータベースを導入し、閲覧席を10席設けて提供を開始した。 ○バスファインダー(※2)は2件改訂し、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。なお、他のバスファインダーについても改訂を進めており、令和元年(2019年)中に公開予定である。 ○平成29年度(2017年度)から開設した、市民の暮らしを資料と情報で支える「暮らし応援欄」の整備を実施。行政情報や医療情報のパンフレットはよく利用され、在庫切れも発生した。  【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○図書・情報館と連携し、商用データベースの利用促進を図る。 ○利用者向けに気軽に商用データベースを活用するミニ講座を開催する。 ○バスファインダーの新規作成及び改訂を実施する。 ○「暮らし応援欄」の充実を目指し、利用者のニーズを探る。		商用データベース端末(中央図書館)	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。	バスファインダーの計画的な新規作成	バスファインダーの改訂作業	バスファインダーHP版の運用開始・紙媒体との積み分け確立	情報ガイドの作成 一調査相談係専門員全員による計画的作成	暮らしの応援欄の設置、充実												
4-②	図書・情報館	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供(紙媒体とHP版)	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○新聞や雑誌の記事、論文や法令、企業・業界情報などさまざまなオンラインデータベース(24種)を用意し、採集、起業を考える来館者やビジネスパーソンが利用できるようにしている。 ○セミナーや展示のテーマに合わせ、調べものにも有用なブックリストを作成し、配布している。 ○リサーチカウンター相談件数(10月~2月 合計2,583件、月平均517件、※利用案内を除く)  【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○データベースの活用をさらに促進するために、利活用のためのミニセミナーの開催や外部専門団体との連携の中で(無料相談窓口)でもデータベースを活用した高度な相談を行えるようにしていく。		リサーチカウンター(図書・情報館)	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。			バスファインダーHP版の運用開始・紙媒体との積み分け確立	暮らしの応援欄の設置、充実	開館準備	供用開始	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。  セミナーや展示のテーマに合わせたブックリストの作成、配布										
5	調査相談係	◆メールレファレンスの検討と開始 ◆HP(ホームページ)上でレファレンス事例集・FAQ・バスファインダーを提供	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○メールレファレンスは年々増加しており、今年度も昨年及び一昨年度を上回る結果となった。しかし、メールレファレンスでは本来受けつけない案件(購入希望・要望)が送られてくることが増えたため、ホームページ上での表記をよりわかりやすく変更する必要がある。 ○HP上では29件のレファレンス事例を公開した。今後も、興味深い内容の事例を厳選して公開していく。 ○バスファインダーは2件改訂し、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。なお、他のバスファインダーについても改訂を進めており、令和元年(2019年)中に公開予定である。  【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○メールレファレンスの回答の質の向上を図っていく。また、ホームページ上での説明をよりわかりやすいものに変更する。 ○バスファインダーの新規作成及び改訂を実施する。 ○ホームページ上でレファレンス事例の公開を継続して行う。	【メールレファレンス件数の推移】 	メールレファレンスデータの蓄積	メールレファレンスの提供、回答の質の向上を図る。		HPから入るメールレファレンスの表示を見やすくして利用者を増やす	HP上でレファレンス事例を提供、事例公開の継続		HP上でバスファインダーを提供、新規作成および改訂の実施	セミナーやイベント開催時にレファレンスのPRを実施											

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（平成30年度（2018年度））

：検討      ：一部（試行）実施      ：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度（2018年度）の取組結果（成果・課題）	参 考	取組時期（年度）										
						2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	
<p>【平成30年度（2018年度）取組結果】</p> <p>○北海道や札幌市に関係した事例を中心に29事例を「レファレンス協同データベース」に提供した。</p> <p>【令和元年度（2019年度）取組目標】</p> <p>○「レファレンス協同データベース」は、今後参考となるような事例があった際に全国の図書館で情報を共有していく目的であるため、札幌、北海道の事例を中心として共有すべき事例を引き続き積極的に公開していく。</p>						レファレンス協同データベースへのレファレンス事例の提供継続、公開事例の拡大										
<p>【平成30年度（2018年度）取組結果】</p> <p>○NDCC（日本十進分類法）9版から10版への改訂に伴い、分類変更について個別に確認が必要なMARCなしデータを抽出し、作業手順を定めた。</p> <p>【令和元年度（2019年度）取組目標】</p> <p>○H30に定めた作業手順に従い、個別確認が必要な資料の分類変更要否の確認及びデータ整備を進めるとともに、図書・雑誌の目録整備を適宜実施し検索利便性の向上を図っていく。</p>						<p>一部実施</p> <p>図書・雑誌目録再整備・高度化</p> <p>新MARC導入準備</p> <p>新システム稼働に合わせてMARCタイプによる高度な検索サービス提供が可能となっており、継続をする。</p> <p>図書・雑誌目録整備を適宜実施し検索の利便性を高める。</p> <p>教育会資料の解題作業</p>										
<p>【平成30年度（2018年度）取組結果】</p> <p>○郷土資料は過去に作成した書誌情報にページ数、内容紹介等を追加した。</p> <p>○新聞縮刷版の巻号登録を完了した。</p> <p>○逐次刊行物の巻号登録を進めた。</p> <p>【令和元年度（2019年度）取組目標】</p> <p>○郷土資料は引き続き詳細情報の追加作業を継続する。</p> <p>○逐次刊行物の巻号登録を継続する。</p>						<p>一部実施</p> <p>図書・雑誌目録再整備・高度化</p> <p>新MARC導入準備</p> <p>新システム稼働に合わせてMARCタイプによる高度な検索サービス提供が可能となっており、継続をする。</p> <p>図書・雑誌目録整備を適宜実施し検索の利便性を高める。</p> <p>教育会資料の解題作業</p>										
<p>◆施策の方向性3◆ — 電子サービスの充実 —</p>																
8-①	調査相談係	■紙媒体と電子媒体による情報提供	<p>◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放《既出4》</p> <p>◆インターネット専用端末に調べ物用リンク集等を掲載</p> <p>◆無線LAN環境の整備の検討</p>	<p>【平成30年度（2018年度）取組結果】</p> <p>○オンラインデータベースと来館者への開放は事業No.4を参照のこと。</p> <p>○HPの調べ物用リンク集の掲載情報についてはリンク切れ等を確認、情報の更新を実施した。</p> <p>○無線LAN環境の改善についてはアクセスポイントを増設し、保守業者による定期的な電波測定を行うことで、一定の効果が見られた。また、定期的なセキュリティキーの変更も継続して実施した。</p> <p>【令和元年度（2019年度）取組目標】</p> <p>○引き続きHPの「調べ物用リンク集」を充実させる。</p> <p>○現在2Fのキャレルコーナーに限定しているWi-Fi利用を全館に拡大する是非について検討する。</p>	 <p>●無線LANの利用可能なキャレルコーナー(中央図書館)</p>	<p>データベースの拡充、調べ物用リンク集の検討・試行</p> <p>無線LAN環境整備の検討・試行</p>	<p>調べもの用リンク集整備</p> <p>無線LAN整備</p>	<p>調べもの用リンク集整備、充実。</p> <p>来館者自身がオンラインデータベースを活用するための支援をする。</p> <p>無線LAN環境が整備されていることのPRを行うとともに、快適な環境で利用できる場の提供を続ける。</p> <p>無線LAN環境の全館拡大に向けた検討</p>								
8-②	図書・情報館	■紙媒体と電子媒体による情報提供	<p>◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放《既出4》</p> <p>◆無線LAN環境の整備の検討</p>	<p>【平成30年度（2018年度）取組結果】</p> <p>○新聞や雑誌の記事、論文や法令、企業・業界情報などさまざまなデータベース（24種）を用意し、換業、起業を考える来館者やビジネスパーソンが利用できるようにしている。</p> <p>○館内では無線LAN環境（Sapporo City Wi-Fi）を整え、インターネットが利用可能な環境を整えている。</p> <p>○Facebook、Instagram（SNS）を活用し、当館のセミナー情報や利用のヒントなど、利用促進が図られるような情報提供を行っている。</p> <p>【令和元年度（2019年度）取組目標】</p> <p>○データベースの利用件数が少ないことから、その利用促進のために、ミニセミナーの開催や外部専門団体との連携の中で（無料相談窓口）でもデータベースを活用した高度な相談を行えるようにしていく。</p> <p>○無線LAN環境の安定的な稼働を行えるよう調整を行っていく。</p>	 <p>●データベース席(図書・情報館)</p>			<p>開館準備</p> <p>供用開始</p> <p>来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。</p> <p>無線LAN環境の安定的な稼働の継続</p> <p>SNSを活用した情報発信の継続</p>								
9	地域支援係	■所蔵資料の電子書籍化の推進	<p>◆電子化を拡大する資料の範囲を決定⇒実施</p>	<p>【平成30年度（2018年度）取組結果】</p> <p>○「さっぽろ絵本グランプリ」受賞作品5点、進路探究オリエンテーションで市内小学校3校の児童が作成した「おしごと探究4コママンガ」を電子書籍化するなど、電子書籍コンテンツの充実を図った。</p> <p>【令和元年度（2019年度）取組目標】</p> <p>○地域資料を中心に、利用者にとって価値のある資料の電子書籍化を検討、実施していく。</p>	 <p>●えほんグランプリの作品</p>	<p>実証実験</p> <p>範囲検討</p> <p>電子書籍化実施</p>		<p>電子書籍化実施</p> <p>○池田コレクション(H30(2018))、生物多様性さっぽろ絵本コンテスト受賞作品(H30(2018))、「おしごと探究4コママンガ」、行政資料等</p> <p>えほん図書館の開設と連動した独自資料追加</p> <p>○さっぽろ絵本グランプリ受賞作品 図書・情報館の開設と連動した独自資料追加</p>								
10-①	地域支援係	■電子書籍貸出サービスの推進	<p>◆電子書籍の貸出の研究⇒実施</p>	<p>【平成30年度（2018年度）取組結果】</p> <p>○電子図書館内でテーマを決めて特集を組み、定期的に出し替える資料の入れ替えを行った。</p> <p>○図書・情報館でも、電子書籍を閲覧できるようにした。</p> <p>【令和元年度（2019年度）取組目標】</p> <p>○電子図書館の認知度を向上させるため、電子図書館の活用を盛り込んだ事業や特集展示の実施を検討する。また、更なる利用の増加に向け、市で著作権を持つ市政資料や地域資料等の電子化を促進するほか、販売コンテンツについては、使用料更新の際に貸出状況等を踏まえて本の入れ替えを行うなど内容の充実を図り、電子書籍の魅力の向上に努める。</p>	 <p>●札幌市電子図書館HP</p>	<p>実証実験</p> <p>基本設計</p> <p>開発</p>		<p>サービスの実施とシステム改善</p> <p>新しいコンテンツの充実と利用者PR</p> <p>えほん図書館の開設とタイアップしたPR強化</p> <p>図書・情報館の開設とタイアップしたPR強化</p>								



第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（平成30年度（2018年度））



：検討      ：一部（試行）実施      ：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度（2018年度）の取組結果（成果・課題）	参 考	取組時期（年度）													
						2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2				
	えほん図書館	電子書籍貸出サービスの推進	◆デジタルネイティブ世代への普及・啓発 ◆さっぽろデジタル絵本事業	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ◆デジタルネイティブ世代への普及・啓発 ○デジタル絵本や教育コンテンツ（30作品）を館内で閲覧できるタブレット端末（iROMI）2台を来館者に貸出しているほか、年齢別おはなし会や幼稚園や保育園等向けおはなし会（団体利用の一種）においてデジタル紙芝居（10作品）を活用している。 ○「デジタル絵本づくり」等、絵本をテーマにデジタル機器を活用した「デジタル絵本ワークショップ」を開催（3回+試行開催5回で計8回開催し、817人が参加）。 【課題】「デジタル絵本ワークショップ」の満足度が高く特に申込制の行事は定員を超える申込があり、今後拡充が必要。 ◆さっぽろデジタル絵本事業 ○電子図書館のコンテンツ充実、絵本文化の普及・発展、札幌の魅力発信等を目的に創作絵本のコンクール「第3回さっぽろ絵本グランプリ」を開催。44作品の応募があり、受賞作品（5作品）を電子図書館に登録。 【課題】募集条件や選考方法の見直し、受賞作品の活用方法や発信方法、絵本文化の普及に絡めた行事展開の検討 ○大正期絵本・絵雑誌等をデータ化したものを電子図書館にて提供中 【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○デジタル絵本等を引き続き提供し、「デジタル絵本ワークショップ」をえほん図書館ならではの企画として充実させる ○第4回さっぽろ絵本グランプリの開催と受賞作品等の市民への周知を推進 ○大正期絵本・絵雑誌等をデータ化したものを電子図書館における提供を継続する	●さっぽろ絵本グランプリ  ●館内閲覧用のタブレット端末 	デジタルネイティブ世代への普及・啓発 ○館内閲覧用タブレット端末の貸出 ○デジタル紙芝居の活用 ○デジタル絵本ワークショップの実施 等  さっぽろ絵本グランプリの実施  大正期絵本・絵雑誌等のデジタルコンテンツを電子図書館にて提供													
	調査相談係	情報リテラシー支援	◆資料・情報調査に関するパンフレット・マニュアルの整備 ◆資料・情報調査に関する講座を開催	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○バスファインダーは2件改訂し、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。なお、他のバスファインダーについても改訂を進めており、令和元年（2019年）中に公開予定である。 ○レファレンス事例集を発行し、館内で配布するほか、ホームページ上で公開した。 【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○バスファインダーの新規作成及び改訂を実施する。 ○レファレンス事例集を継続して発行し、ホームページ上で公開する。	●バスファインダー 	資料・情報調査に関するマニュアル・パンフレットの提供 バスファインダーの新規作成、改訂、配布。（HPへの公開） レファレンス事例集の発行、配布。（HPへの公開） 情報ガイドの作成 資料・情報調査に関する講座を開催 タブレットを使用した講座の実													

基本方針2 本・人・文化を結ぶ図書館

◆施策の方向性1◆ — 新たな文化との出会いの場の提供 —

12-①	地域支援係	講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ＜児童向け行事＞ おはなしどうぶつえん（円山動物園協力）、日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力 ＜児童・一般向け行事＞ カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」 ＜一般向け行事＞ サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計5回）、美術への誘い（北海道美術協会との共催、計2回）、地震防災・救急事故予防講話（消防局連携、1回） 【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○より一層の他団体との連携を図るとともに、様々な年代の利用者が興味を持ち図書館へ来館するきっかけづくりとなるような行事・展示の内容充実を図っていく。	●サイエンス・フォーラムinさっぽろ 	年度ごとに事業の柱を立てて実施 社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する講演会や展示の検討・実施 他団体との連携した事業の実施												
12-②	地域支援係・図書館サービス係	講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ＜子ども向け行事・展示＞ 読み聞かせボランティアによるお話の会62回、一日司書体験4回、ピブリオバトル（※3）1回、めいぐるみのお泊り会2回、工作会2回、映画会2回、せかいの絵本おはなし会2回、展示4回（人気の絵本、おいしい絵本等）、ミニ展示10回（自由研究、星・宇宙等） ＜中学・高校生向け行事・展示＞ 常設展示テイクオフ10回（夏の本、名作等）、カバライラストコンテスト1回、職業について学ぼう1回（直前の地震のため中止）、脱出ゲーム1回 ＜一般向け展示＞ 事業No13-①と同じ 【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○平成27年度（2015年度）から中学生向けの本のコーナー（ティーンズの森）を立ち上げ中高生向けサービスに力を入れており、引き続き中高生向けの行事・展示の充実を図っていく。 ○一般向け展示の詳細は、事業No13-①のとおり	●展示の様子 	年度ごとに事業の柱を立てて実施 社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する講演会や展示の検討・実施 他団体との連携した事業の実施  えほん図書館、図書・情報館関連の行事や展示の取組												

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度(2018年度)の取組結果(成果・課題)	参 考	取組時期(年度)												
				令和元年度(2019年度)の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2			
12-③	調査相談係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性(蔵書)を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ(図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開) ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信(利用者の知的好奇心に応える事業展開)	<b>【平成30年度(2018年度)取組結果】</b> ○一般向け行事 講座「夏休み」高校生向け起業講座 ビジネスアイデアを生み出すワーク、知の探索セミナー「アメリカ文学の歩き方、遊び方」、国際交流セミナー「Hello, World!〜魅力たっぷり!ドイツとロシア〜」、国際交流セミナー「中央図書館から始める世界の旅〜留学生文化紹介セミナー2018〜」、講演会「松浦武四郎と北海道」 ○展示 企画展「おおば比呂司 癒しの世界展」、交通局×中央図書館コラボレーション企画パネル展「大人も子どもも楽しめる!路面電車100周年記念パネル展」、北海道150年特別展「松浦武四郎 北へのまなざし」、札幌市役所ロビー出張パネル展「松浦武四郎 北へのまなざし」、資料展示(「終戦の夏〜絵画にみるシベリア抑留」、「あんしん展示 こころおだやかな新年を」、「あんしん展示 おかひなはよりあったほうがいい」、「800Kセラピー〜本のお菓子は、あなたのそばの図書館へ〜」)、ミニ展示(「『シベリア抑留』を読む」、「掘澤一と地図の世界」、「札幌を歩こう!」、「北海道大物語」、「路面電車の走る街2018」、「魅力たっぷり姉妹都市」、「札幌の学び舎とその歴史」、「美(Art)・音(Music)・楽(Enjoy)〜さっぽろの音楽と芸術〜」、「美味しい北海道〜食を楽しむ北国の冬〜」、「昭和から平成へ〜30年前のあの日、あの頃〜」、「北海道映像作品めぐり」) <b>【令和元年度(2019年度)取組目標】</b> ○一般向け行事 トークイベント「まち文化商店街」(仮称)、講演会「防災」(仮称)、講演会「笑いの健康」(仮称) ○展示 企画展「まち文化商店街」、企画展「演劇シーズン」(仮称)、所蔵資料展「北海道とビール」(仮称)、資料展「砂澤ピッキ」(仮称)、さっぽろ資料室ミニ展示月1回(「札幌の公園」ほか)	 ●知の探索セミナー「アメリカ文学の歩き方、遊び方」  ●北海道150年特別展「松浦武四郎 北へのまなざし」	年度ごとに事業の柱を立てて実施 社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する講演会や展示の検討、実施 他団体との連携した事業の実施 えほん図書館、図書・情報館関連の行事や展示の取組												
				12-④	えほん図書館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性(蔵書)を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ(図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開) ◆発達段階に応じた子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信(利用者の知的好奇心に応える事業展開)	<b>【平成30年度(2018年度)取組結果】</b> ○子どもの発達段階に応じた年齢別おはなし会、えほんとわらべうたの会のほか、登録ボランティア団体によるおはなし会等行事を開催 ○乳幼児とその保護者を対象として、図書館デビュー(プロのアーティスト等が出演する読み聞かせイベント)、ぬいぐるみおとまり会(子どものぬいぐるみを預かり、ぬいぐるみが夜の図書館を探検する様子を撮影し、迎えにきた子どもにぬいぐるみと写真アルバムを渡し、ぬいぐるみの選んだおすめの本を紹介する)、各種ワークショップ(飛び出す絵本づくりやうちわづくり等)などを開催 ○「絵本講座」として大手出版社の絵本編集者や地元絵本作家による講座を開催 ○「ボランティア講座」として、パルンシアターやおはなし会講座を開催 ○「デジタル絵本ワークショップ」として、デジタル絵本づくりやデジタル機器を活用した絵本バッグの創作体験等を開催 ○小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ!えほんマイスター」を開始し継続中 <b>【課題】</b> 上述の行事の参加者数の合計は1万人前後で推移しているが、特に人気の高い図書館デビューやデジタル絵本ワークショップにおいて参加者数が極端に多くなることがあり、運営方法や開催回数の拡充などの見直しが必要。 <b>【令和元年度(2019年度)取組目標】</b> ○図書館デビューについては、開場時間の見直しや試行的に開催回数を増やす等してより円滑に行事を開催する。 ○「めざせ!えほんマイスター」を継続し、読書習慣の定着化と来館の動機づけを目的として、読書推進の機会として活用していく。 ○これまでの実績や来館者ニーズを踏まえてより来館者の満足度が高まるよう、引き続きえほん図書館ならではの行事を企画し実施していく。	 ●年齢別おはなし会  ●ボランティアおはなし会  ●ぬいぐるみおとまり会  ●えほんマイスター達成者展示	年度ごとに事業の柱を立てて実施 年齢に応じたサービスプログラムの開発と実施 乳幼児・保護者向け行事の実施 ○年齢別おはなし会 ○図書館デビュー ○ぬいぐるみおとまり会 ○絵本講座 ○ボランティア講座 ○各種ワークショップ ○めざせ!えほんマイスターの実施(H30〜) など 幼稚園・保育園などの団体利用の受け入れ								
12-⑤	図書・情報館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性(蔵書)を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ(図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開) ◆知の拠点としての情報発信(利用者の知的好奇心に応える事業展開)					<b>【平成30年度(2018年度)取組結果】</b> ○Work(仕事に役立つ)関連としてビジネススキルを高めるようなセミナーを毎月1回(「女性のために起業のヒント」等)、Life(暮らしを助ける)、Art(芸術に触れる)関連のセミナーとして毎月1本(「はたらく女子の好感度をUP!カラーコーディネート講座」等)のセミナーを開催した。そのほか、市民交流プラザや札幌市、北海道大学との連携で随時、セミナーを行った。(22回開催、毎月Work系1本、LIFE、ART系1本を基本としている) <b>【令和元年度(2019年度)取組目標】</b> ○セミナーの質が維持できるよう留意しながら、連携する専門団体を拡げつつ、利用者のニーズにそったセミナーを同ベース(月に2本)で開催していく。	 ●セミナー「創成川の151年」  ●「資産運用セミナー」	開館準備 供用開始 Work(仕事に役立つ)、Life(暮らしを助ける)、Art(芸術に触れる)に関連したセミナーの実施 関係団体と連携したセミナー等の実施								
				13-①	図書館サービス係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	<b>【平成30年度(2018年度)取組結果】</b> ○1階図書室の展示回数11回(「2018札幌演劇シーズン夏」、「働きながらがん治療を受けるあなたへ」、「シンボルリボンで絆を結ぶ」、「『さっぽろアートステージ』アートブックフェア」など) <b>【令和元年度(2019年度)取組目標】</b> ○令和元年度(2019年度)から、新たに札幌市各局と図書館を活用した連携事業を行うことから、それらの事業と連動した図書展示を行うことにより、利用者に対し新たな図書との出会いを提供するとともに、本市の様々な事業に興味を持ってもらえるような相乗効果を狙う。	 ●図書室の展示「和の世界へようこそ」(中央図書館)	展示スペース更新 各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書展示 行事や講座と関連した図書室展示 各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書室展示 図書館内リニューアルにて展示スペースの更新 図書館を活用した札幌市各局との連携事業と連動した展示等の実施								








第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（平成30年度（2018年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度（2018年度）の取組結果（成果・課題）	参 考	取組時期（年度）										
						2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	
13	②	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○札幌出身の漫画家・画家で没後30年を迎えるおおば比呂司氏をテーマに、関連団体と協力して企画展「おおば比呂司 癒しの世界展」を実施。また、北海道150年事業の一環として実施した特別展「松浦武四郎 北へのまなざし」では、松浦武四郎自筆史料など貴重書を積極的に展示するとともに、展示中の貴重書はHP「札幌市中央図書館デジタルライブラリー」でも公開している旨をPRした。例年のさっぽろ資料室ミニ展示は、今年度から回数を増やし、毎月テーマを変えて開催した（「札幌を歩こう！」、「魅力たっぷり姉妹都市」、「美（Art）・音（Music）・楽（Enjoy）～さっぽろの音楽と芸術～」ほか）。 ○今年度から新たに1階図書室での資料展示の回数を増やし、安心をテーマにした「あんしん展示」のほか、全国の図書館で広く実施されている「BOOKセラピー～本のお薬は、あなたのそばの図書館へ～」を実施し、様々なテーマにより資料の利用を促した。 ○展示リストを作成し配布、HPに公開し、蔵書検索システムの「テーマ展示」にも公開した。		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○企画展「まち文化商店街」と関連トキイベント、所蔵資料展「北海道と equal」（仮称）と関連講演会を開催する。また、1月1日のさっぽろ資料室ミニ展示（「札幌の公園」等）のほか、「演劇シーズン」や「砂澤ピッキ」をテーマとした資料展示を開催する。 ○展示リストを作成し配布、HPに公開し、蔵書検索システムの「テーマ展示」にも公開する。	●BOOKセラピー～本のお薬は、あなたのそばの図書館へ～(中央館)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○企画展「まち文化商店街」と関連トキイベント、所蔵資料展「北海道と equal」（仮称）と関連講演会を開催する。また、1月1日のさっぽろ資料室ミニ展示（「札幌の公園」等）のほか、「演劇シーズン」や「砂澤ピッキ」をテーマとした資料展示を開催する。 ○展示リストを作成し配布、HPに公開し、蔵書検索システムの「テーマ展示」にも公開する。	●SDGs関連の展示(図書・情報館) ●プラザ連携の展示(図書・情報館)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
13	③	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○セミナーのテーマに呼応した形での図書展示（起業セミナーやSDGs等）や市民交流プラザとの連携などにより図書展示を行った。		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○連携する行健事、団体を拡げながら、図書・情報館の利用を促進するような展示を引き続き行っていく。	●SDGs関連の展示(図書・情報館) ●プラザ連携の展示(図書・情報館)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○引き続き見学の受け入れや職場体験を積極的に受け入れるとともにニーズに応じたきめ細かな対応をしていく。	●一日司書体験(カウンター体験) ●一日司書体験(書庫見学)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
14	地域支援係	■図書館見学や職場体験の充実	◆司書体験や館内ツアーの多様化の検討と実施	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○司書課程実習1回19人、1日司書体験4回28人、総合学習・職場体験等17回403人、図書館の使い方講座2回40人		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○引き続き見学の受け入れや職場体験を積極的に受け入れるとともにニーズに応じたきめ細かな対応をしていく。	●一日司書体験(カウンター体験) ●一日司書体験(書庫見学)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○引き続き見学の受け入れや職場体験を積極的に受け入れるとともにニーズに応じたきめ細かな対応をしていく。	●一日司書体験(カウンター体験) ●一日司書体験(書庫見学)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
◆施策の方向性2◆ — 誰もが利用しやすい施設の整備とサービスの充実 —																
15	総務係	■案内表示等の充実	◆表示や設備のユニバーサル化について、H23年度（2011年度）に中央図書館で実施 ◆地区図書館についてはH24年度（2012年度）以降に中央館とのサイン表示の統一も視野に入れた検討と実施を行う。	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○地区図書館について引き続き検討しており、一部の地区図書館においてカウンター周りなど案内表示の充実を図った。		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○今後も引き続き検討していくが、中央図書館の機器更新や一部地区図書館の案内表示実施状況を参考に地区図書館の機器更新等についての検討を行う。	●案内表示の改良(東札幌図書館)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○蔵書検索・予約システムの機器の入れ替えとシステムの更新を行う。	●案内表示の改良(東札幌図書館)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
16	情報化推進担当係	■電算システムの更新	◆蔵書検索システム・業務システムの改善（子ども～高齢者まで使いやすい）、電子書籍貸し出し機能、SAPICAへの図書貸出券機能付加	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○現行システムに残る不具合について対応し、安定的なシステム稼働を実現した。 ○図書・情報館での独自運用にあわせてICタグやICハンディ機器などを使用するシステムを開発し、運用を開始した。		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○蔵書検索・予約システムの機器の入れ替えとシステムの更新を行う。	●本に添付したICタグ(左) ●ICタグを読み取るハンディ機器(右)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○蔵書検索・予約システムの機器の入れ替えとシステムの更新を行う。	●本に添付したICタグ(左) ●ICタグを読み取るハンディ機器(右)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
17	図書館サービス係	■高齢者・障がいのある方向けの資料の充実と利用環境の整備	◆出版状況の調査やボランティア団体との連携による大活字本・拡大写本・大型絵本等の収集充実 ◆拡大読書器や宅配貸出の充実、視覚障がい者等に対応したWebサービスの導入	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○大活字本・拡大写本所蔵冊数：3,368冊 ○大型絵本：157冊、超大型絵本：127冊 ○郵送貸出登録者225人（H30(2018)比13人増）、郵送貸出冊数7,112点（H30(2018)比722点増） ○LLブックコーナー設置 ○拡大読書器更新		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○大活字本等の収集については、平成30年度（2018年度）と同等の水準を確保 ○郵送貸出サービスについては、引き続き円滑なサービス提供を目指す。 ○電子書籍は、文字の拡大等が可能のため、障がいのある方への利用促進を図る。	【大活字本・拡大写本・大型絵本の所蔵数】 3,554冊（平成24年度末（2014年度末）） →3,652冊（平成30年度末（2018年度末）） 【郵送貸出登録者数及び郵送貸出数の推(冊)】 	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○大活字本等の収集については、平成30年度（2018年度）と同等の水準を確保 ○郵送貸出サービスについては、引き続き円滑なサービス提供を目指す。 ○電子書籍は、文字の拡大等が可能のため、障がいのある方への利用促進を図る。	【大活字本・拡大写本・大型絵本の所蔵数】 3,554冊（平成24年度末（2014年度末）） →3,652冊（平成30年度末（2018年度末）） 【郵送貸出登録者数及び郵送貸出数の推(冊)】 	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
18	図書館サービス係	■視覚障がい者情報センターとの情報の共有と発信	◆視覚障がい者へのサービス充実に向け、情報センターとの意見交換と研修の推進 ◆障がい者向けサービス掲載のパンフレット配布など、情報センター利用者へのPRを強化	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○「障害者サービス担当職員養成講座」へ図書情報専門員を派遣 ○外部講師を招いた障がい者サービス研修を実施 ○点訳用資料の特別貸出を実施		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○障がい者向けサービスの充実に向け、関係機関と情報共有を図るとともに、必要な方に必要な情報が届くようPR方法を検討する。 ○引き続き、「障害者サービス担当職員養成講座」へ職員を派遣していくとともに、外部講師を招いた障がい者・高齢者サービスの研修も計画していく。	相互の業務を理解するため、意見交換と研修を継続的に実施	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
				【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○障がい者向けサービスの充実に向け、関係機関と情報共有を図るとともに、必要な方に必要な情報が届くようPR方法を検討する。 ○引き続き、「障害者サービス担当職員養成講座」へ職員を派遣していくとともに、外部講師を招いた障がい者・高齢者サービスの研修も計画していく。	PR手法検討 視覚障がい者情報センターと連携、協力したPR媒体の作成と配布	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況(平成30年度(2018年度))




緑色: 検討      青色: 一部(試行)実施      赤色: 本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度(2018年度)の取組結果(成果・課題)		参 考	取組時期(年度)																	
				令和元年度(2019年度)の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2								
◆施策の方向性3◆ — 子どもの読書環境の充実 —																								
19-①	地域支援係	■普及事業の充実	幼児～高校生の読書促進施策の充実 ◆子ども向け行事の充実(ボランティアとの協働、全館行事の強化) ◆毎年度ごとに、子ども読書チャレンジプロジェクトの企画更新を続ける	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○こどもの読書週間(4/23～5/12)及び読書週間(10/27～11/9)に係る全館特別行事、年間を通して様々な行事を行う子ども読書チャレンジプロジェクトの実施等により、子どもたちが図書や図書館に触れる機会を多数創出した。 【小学生向け行事】進路探究オリエンテーション、【中高生向け行事】図書局員による特色ある取組発表、中・高生ビブリオバトル 【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○第3次札幌市子どもの読書活動推進計画の達成に向け、過年度実施内容の検証、関係部との協議等を行い今後の事業内容のレベルアップを図る。 また、令和3年度(2021年度)中に次期計画を策定する予定であることから、今までの実績を踏まえつつ、さらに効果ある事業のあり方を検討する。	●中・高生ビブリオバトル		第2期子ども読書チャレンジプロジェクト ○進路探究オリエンテーション ○図書局員による特色ある取組発表 ○中・高生ビブリオバトル など																	
19-②	えほん図書館	■普及事業の充実	乳幼児の読書促進施策の充実 ◆親子で絵本に親しまっかけづくりの場の提供 ◆図書館を利用する習慣がない乳幼児の来館機会の創出	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○子どもの発達段階に応じた年齢別おはなし会、えほんとわらべうたの会のほか、登録ボランティア団体によるおはなし会を開催 ○乳幼児とその保護者を対象として、図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップ(飛び出す絵本づくりやうちわづくり等)を開催 ○「デジタル絵本ワークショップ」として、デジタル絵本づくりやデジタル機器を活用した絵本バッグの創作体験等を開催 ○小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ!えほんマイスター」を開始し継続中 【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○図書館デビューについては、開場時間の見直しや試行的に開催回数を増やす等してより円滑に行事を開催する。 ○「めざせ!えほんマイスター」を継続し、読書習慣の定着化と来館の動機づけを目的として、読書推進の機会として活用していく。 ○これまでの実績や来館者ニーズを踏まえてより来館者の満足度が高まるよう、引き続きえほん図書館ならではの行事を企画し実施していく。	●図書館デビュー ●デジタル絵本ワークショップ		第2期子ども読書チャレンジプロジェクト ○図書館デビュー 普及事業の実施と充実 ○年齢別おはなし会 ○図書館デビュー ○ぬいぐるみお泊り会 ○絵本講座 ○ボランティア講座 ○各種ワークショップ ○めざせ!えほんマイスターの実施(H30～) など																	
20-①	地域支援係	■図書展示やブックリストの充実	◆こどもの森での季節や季節に応じた展示を充実し、児童生徒の読書への関心を喚起する ◆ミニ展示中の資料をリスト化して配布するほか、Web上でも公開する	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○引き続き児童・生徒の興味・関心を喚起するような展示テーマを選択するとともに、効果的な展示を行っていく。 ○館内にて配布している人気シリーズ本のリストを更新し、HP上で公開する。	●こどもの森(中央図書館) 展示(自由研究)の様		各種展示の継続とPRの強化、一般資料展示との連携 関係団体作成の読書関連リストの展示と、ミニ展示における展示資料リストの作成 図書館内リニューアルによる子どもの森の展示の充実 ぬいぐるみお泊り会等の行事と連携しおすすめ本の紹介や展示 発達段階に応じた資料の充実へのステップとするヤングアダルト関連本の展示																	
20-②	えほん図書館	■図書展示やブックリストの充実	◆対象年齢別、テーマ別におすすめの絵本を紹介	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○おすすめ絵本を紹介するブックリストの配布 年齢別ブックリストと、「のりもの」「おばけ」などテーマ別ブックリストを作成し配布している ○館内の特設展示コーナーやジャケッット架にて、子どもに身近な季節やテーマ等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら実施している。「くだもの・やさいのえほん」「どきどきわくわく新生活」「ロングセラー絵本」等 【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○H30年度(2018年度)の取組を継続実施	●ブックリスト(テーマ別) ●特設展示「くだもの・やさいの絵本」		対象年齢別のおすすめ絵本の紹介ブックリストの作成 本の紹介や展示																	
21-①	地域支援係	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆児童書研究資料の充実や各種目録を参考にした蔵書の充実 ◆児童サービス関係研修への参加や関係機関との情報交換等による児童担当職員の育成	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○引き続き児童研究資料を購入し充実を図った。「職員のためのYAサービス研修会」と題して外部講師(高校図書館司書)を招いた児童サービス研修を実施した。 【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○児童研究資料の充実を図る。 ○外部講師を招いての児童サービス研修を予定している。	●児童研究室(中央図書館)		児童研究資料の充実等による適切な資料収集と、利用者に対する的確なアドバイスの実行 関係機関が主催する研修等への積極的参加と児童サービス関係者との意見交換によるスキルアップ 児童担当による出前講座での絵本読み聞かせ講義 児童担当による職員への絵本の読み聞かせ講義、子どもへの読み聞かせの検討と実施																	
21-②	えほん図書館	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆絵本文化に係る一般向け資料の計画的収集 ◆絵本への理解を深めることができる蔵書環境の整備	【平成30年度(2018年度)取組結果】 ○H30年度(2018年度)は以下のとおり資料を追加・更新 ・新刊絵本は、子どもの年齢別に必要なもの約1,000冊 ・既刊絵本は、紙芝居を含めて約250冊 ・絵本に関する一般書を約80冊 ○年齢別おはなし会やえほんとわらべうたの会等の開催時に読み聞かせとともに資料を紹介。 ○館内の特設展示コーナーやジャケッット架にて、子どもに身近な季節やテーマ等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら実施しているほか、年齢別、テーマ別のおすすめ絵本をブックリストで紹介 【令和元年度(2019年度)取組目標】 ○H30年度(2018年度)と同規模の資料の追加・更新を行っていく。また、今後も館内の特設展示コーナーやジャケッット架での絵本の紹介展示を展開していくと共にブックリストを活用し、来館者への情報提供に努めていく。	●新刊コーナー ●特設展示「グリム童話特集」		資料の充実 作品情報を展示、ブックリスト等で紹介 年齢別のお話会の実施等																	



第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（平成30年度（2018年度））

緑色：検討      青色：一部（試行）実施      赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度（2018年度）の取組結果（成果・課題）		参 考	取組時期（年度）										
				令和元年度（2019年度）の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	
22	地域支援係	■障がいのある子ども向け資料の充実	◆点字絵本、L型ブック等のほか、関係団体との連携による適切な資料の研究と充実 ◆障がい児等に対応したWebサービスの導入	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○電子媒体による資料の充実を引き続き進めた。 ○来館困難な児童に対して、郵送、宅配により図書を配本。 ※登録者数225人（うち12歳以下7人）、貸出冊数6,786冊、視聴覚資料326点（冊数・点数は、児童を含むサービス利用者全体） ○LLブックコーナーを設置 ○拡大読書器の更新	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○関係団体との連携強化と電子媒体による資料の充実を図っていく。	 ●LLブックコーナー ●更新した「拡大読書器」	関係団体との連携・資料の研究	障がいのある子ども向け図書の研究と収集、関係団体との連携	情報環境の研究	障がい児対応サービス（HP上の文字の拡大、音声読み上げソフト対応） ○拡大読書器の更新(H30(2018))	LLブックコーナーの設置						
				【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○洋書絵本所蔵数3,317冊 ○外国語絵本による児童向け読み聞かせ会（せかいの絵本お話を）2回（韓国語・中国語）実施。	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○前年度と違う言語の外国語絵本による児童向け読み聞かせ等を実施し、異文化理解を促進を図る。		洋書絵本所蔵数の推移	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR	大学・海外交流団体等との連携による資料展示の実施	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示	外国語による読み聞かせ等各種行事の実施						
23-①	地域支援係	■外国語の子どもの向け資料の充実	◆洋書絵本等の充実 ◆多文化理解のための各種行事の実施	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○外国語の絵本は、主な絵本各賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語である英語、中国語、韓国語、ドイツ語、ロシア語を中心に549冊を収集・提供している。 (H30年度(2018年度)は英語絵本を28冊追加し、蔵書冊数の内訳は、英語419冊、ドイツ語訳32冊、韓国語22冊・中国語21冊・ロシア語20冊、その他の言語35冊)	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○引き続き絵本の賞の受賞作品を参考にしながら、来館者のニーズに応えることができるよう情報収集し、未就学児向けの英語絵本や札幌市の姉妹都市の言語の絵本の収集に努めていく。	 ●姉妹都市コーナー	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR	大学・海外交流団体等との連携による資料展示の実施	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示	外国語による読み聞かせ等各種行事の実施							
				【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○外国語の絵本は、主な絵本各賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語である英語、中国語、韓国語、ドイツ語、ロシア語を中心に549冊を収集・提供している。 (H30年度(2018年度)は英語絵本を28冊追加し、蔵書冊数の内訳は、英語419冊、ドイツ語訳32冊、韓国語22冊・中国語21冊・ロシア語20冊、その他の言語35冊)	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○引き続き絵本の賞の受賞作品を参考にしながら、来館者のニーズに応えることができるよう情報収集し、未就学児向けの英語絵本や札幌市の姉妹都市の言語の絵本の収集に努めていく。		英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR	大学・海外交流団体等との連携による資料展示の実施	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示	外国語による読み聞かせ等各種行事の実施							
23-②	えほん図書館	■外国語の子どもの向け資料の充実	◆洋書絵本等の充実	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○外国語の絵本は、主な絵本各賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語である英語、中国語、韓国語、ドイツ語、ロシア語を中心に549冊を収集・提供している。 (H30年度(2018年度)は英語絵本を28冊追加し、蔵書冊数の内訳は、英語419冊、ドイツ語訳32冊、韓国語22冊・中国語21冊・ロシア語20冊、その他の言語35冊)	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○引き続き絵本の賞の受賞作品を参考にしながら、来館者のニーズに応えることができるよう情報収集し、未就学児向けの英語絵本や札幌市の姉妹都市の言語の絵本の収集に努めていく。	 ●姉妹都市コーナー	えほん図書館への姉妹都市コーナー準備・設置	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集									

基本方針3 広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館






◆施策の方向性1◆ ー 積極的な情報発信 ー												
24	総務係	■ホームページや広報印刷物の充実	◆HPのコンテンツの充実を図る（ブックリストの掲載、近郊都市や大学研究機関の図書施設との相互リンクの作成など）。 ◆広報物の内容・種類の充実を図る。	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○HPでは分かりやすい情報発信に努めた。 ○図書館広報誌（中央図書館だより）の発行を行った。 ○研修を実施し、各図書館だよりを充実。	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○HPコンテンツの拡充及び有効な情報発信方法について検討する。	HP改修（レイアウト変更及び行事ページ充実）	HPのコンテンツを順次拡充	HPのスマートフォン対応及びデザインリニューアルを行った。	HPのリニューアル及びコンテンツを順次拡充	図書館広報誌（中央図書館だより）の発行を行った。		
				【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○HPでは分かりやすい情報発信に努めた。 ○図書館広報誌（中央図書館だより）の発行を行った。 ○研修を実施し、各図書館だよりを充実。	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○HPコンテンツの拡充及び有効な情報発信方法について検討する。		HPのスマートフォン対応及びデザインリニューアルを行った。	HPのリニューアル及びコンテンツを順次拡充	図書館広報誌（中央図書館だより）の発行を行った。			
25-①	地域支援係	■普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各局や大学、関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ＜児童向け行事＞ おはなしどうぶつえん（円山動物園協力）、日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力 ＜児童・一般向け行事＞ カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」 ＜一般向け行事＞ サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計5回）、美術への誘い（いざな）い（北海道美術館協会との共催、計2回）さっぽろ家庭読書フォーラム（学校教育部との連携）、「文字・活字文化の日」記念講演会、「子どもの読書」支援セミナー（計2回）	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○図書館での実施意義を念頭に置きながらも、様々な機関との連携を積極的に進め、多様な情報発信事業の開催に努める。	 ●美術への誘い(北海道美術館協会との共催)	年度ごとに事業の柱を立てて実施	社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する普及事業の検討・実施				
				【平成30年度（2018年度）取組結果】 ＜児童向け行事＞ おはなしどうぶつえん（円山動物園協力）、日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力 ＜児童・一般向け行事＞ カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」 ＜一般向け行事＞ サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計5回）、美術への誘い（いざな）い（北海道美術館協会との共催、計2回）さっぽろ家庭読書フォーラム（学校教育部との連携）、「文字・活字文化の日」記念講演会、「子どもの読書」支援セミナー（計2回）	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○図書館での実施意義を念頭に置きながらも、様々な機関との連携を積極的に進め、多様な情報発信事業の開催に努める。		年度ごとに事業の柱を立てて実施	社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する普及事業の検討・実施				
25-②	調査相談係	■普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各局や大学、関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○企画展「おおば比呂司 癒しの世界展」では、札幌市文化局やおおば比呂司Art Collectionと協力し、おおば氏の作品パネルと中央図書館の所蔵資料をあわせて展示。 ○北海道150年特別展「松浦武四郎 北へのまなざし」では、北海道博物館の学芸員の講演をあわせて実施。 ○所蔵資料を活用したミニ展示を全11回実施したほか、資料展示やパネル展示を新たに実施。 ○札幌市各局や関係機関と連携した講座「夏休み 高校生向け起業講座 ビジネスアイデアを生み出すワーク」、知の探索セミナー「アメリカ文学の歩き方、遊び方」、札幌市国際部と留学生セミナーを実施。	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○6月に企画展「まち文化商店街」と、関連トキイベントを実施。10月から所蔵展「北海道とビール」（仮称）と、サッポロビール博物館の職員による講演会を実施。さっぽろ資料室ミニ展示は月1回実施。	 ●夏休み「高校生向け起業講座 ビジネスアイデアを生み出すワーク」 ●講演会「松浦武四郎と北海道」	年度ごとに事業の柱を立てて実施	社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する普及事業の検討・実施				
				【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○企画展「おおば比呂司 癒しの世界展」では、札幌市文化局やおおば比呂司Art Collectionと協力し、おおば氏の作品パネルと中央図書館の所蔵資料をあわせて展示。 ○北海道150年特別展「松浦武四郎 北へのまなざし」では、北海道博物館の学芸員の講演をあわせて実施。 ○所蔵資料を活用したミニ展示を全11回実施したほか、資料展示やパネル展示を新たに実施。 ○札幌市各局や関係機関と連携した講座「夏休み 高校生向け起業講座 ビジネスアイデアを生み出すワーク」、知の探索セミナー「アメリカ文学の歩き方、遊び方」、札幌市国際部と留学生セミナーを実施。	【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○6月に企画展「まち文化商店街」と、関連トキイベントを実施。10月から所蔵展「北海道とビール」（仮称）と、サッポロビール博物館の職員による講演会を実施。さっぽろ資料室ミニ展示は月1回実施。		年度ごとに事業の柱を立てて実施	社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する普及事業の検討・実施				

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度（2018年度）の取組結果（成果・課題）	参 考	取組時期（年度）											
				令和元年度（2019年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2		
◆施策の方向性2 ◆ — 市民との協働 —																	
26-①	総務係	■満足度や評価についての調査の継続	◆日々利用者から寄せられる苦情・要望の分析（アンケートフォーム、市民の声を聞く課を通じた要望等） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB）	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上で公表した。  【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上での公表を継続する。	【満足度の推移（中央図書館及びえほん図書館、地区図書館）1】  H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30	日々寄せられる苦情・要望へ対応  日々寄せられる苦情・要望の取りまとめ・統計化、HP上や館内掲示での公表											
26-②	企画担当係	■満足度や評価についての調査の継続	◆市民の満足度調査として、利用者アンケートを実施（年度末） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB） ※H23年度（2011年度）：中央館+地区図書館、H24年度（2012年度）以降：区民・地区センター図書室への導入検討（区政課との協議）	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○利用者アンケート結果を次年度の計画等に反映させるため、中央館及びえほん館、地区館について年内に取りまとめをした。 ○平成31年（2019年）4月にHPにおいて、利用者アンケート結果を掲載するとともに、今年度から中央図書館、地区図書館、えほん図書館において、各施設のアンケート結果を掲示した。  【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○次年度の計画等に反映させるべく、引き続き、平成30年度と同様の時期に利用者アンケート調査を実施する。 ○令和元年度（2019年度）から新たに図書・情報館を加えて利用者アンケートを実施する。	中央館・地区館で利用者アンケートを実施し、翌年度WEB上で公表  中央館・地区館に加え、区民センター図書室等でも利用者アンケートを実施し、翌年度H29(2017)～えほん図書館、令和元(2019)～図書・情報館を加え  利用者アンケート結果を各施設において掲示 ※中央図書館、地区図書館、えほん図書館、図書・情報館分												
27-①	地域支援係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ＜児童向け行事＞ 日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力 ＜児童・一般向け行事＞ カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」 ＜一般向け行事＞ サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計5回）、美術への誘（いざな）い（北海道美術館協会との共催、2回）、さっぽろ家庭読書フォーラム図書局発表（学校教育部との連携） その他、CISE（※4）ネットワークと連携し、「調べる学習支援トランクキット」を学校図書館司書配置中学校を対象に貸出（29件）。  【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業を開催できるよう検討する。	 ●カルチャーナイト本のおたのしみ袋	毎年度の普及事業の企画の際に、関係団体等との連携拡大を図る  社会の動きや市民ニーズを把握した幅広いテーマの事業検討・実施											
27-②	えほん図書館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○登録ボランティア団体によるおはなし会等各種行事の実施（登録14団体、開催80回） ○幼稚園、保育園等の団体利用（61件） ○環 環境管理担当課と連携した、生物多様性をテーマとした展示を企画 ○北海道石狩振興局と連携し、北海道命名150周年記念行事として石狩管内にゆかりのある「イシカリ150絵本」の読み聞かせ会をえほん図書館開館2周年に合わせて実施  【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○登録ボランティア団体によるおはなし会等各種行事の実施を継続していく ○幼稚園、保育園等の団体利用を継続していく ○保 動物管理センターと連携し、動物愛護に関する絵本を紹介する展示を実施予定	 ●北海道命名150周年記念行事「イシカリ150絵本」読み聞かせ会	毎年度の普及事業の企画の際に、目的に応じて関係団体等との連携を図る。  社会の動きや市民ニーズを把握した幅広いテーマの事業検討・実施											
27-③	図書・情報館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○外部専門団体との連携によりセミナーを開催した。（北海道よろず支援、行政書士会、リラコフ、北海道大学等、計11回） ○外部専門団体による無料相談会を2階カウンターにて毎週開催した。（日本政策金融公庫、北海道よろず支援拠点、法テラス、中小企業支援センター）計98回開催、相談件数100件  【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○引き続き、連携によりセミナーや無料相談会を行いながら、連携先を拡大し、より利用者にとって多くの情報入手、相談の機会を提供していく。 ○無料相談窓口への相談件数が伸び悩んでいることから、周知に関して、様々な形の情報提供を行っていく。	 ●無料相談窓口（法テラス）	関係団体との連携によるセミナーの実施  無料相談窓口の継続実施とPRの促進											
27-④	企画担当係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【平成30年度（2018年度）取組結果】 ○第3次札幌市生涯学習推進構想での図書館の位置づけや図書館協議会からの答申「生涯学習社会の中で札幌市図書館が果たすべき役割について」も考慮に入れながら、図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制を構築していくための考え方である「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」を平成30年（2018年）4月に定め、図書館と生涯学習センターとの連携した事業を開始した。 ・ご近所先生企画講座の実施「あなたのための美文字レッスン（元町図書館）」、「はじめてのエッセイ（元町図書館）」、「ここから始める投資の基礎（新琴似図書館）」 ・札幌市民カレッジ講座の実施「さっぽろ10区めぐり～厚別区編～（厚別図書館）」、「暮らしを詠む～はじめての短歌創作～（中央図書館）」  【令和元年度（2019年度）取組目標】 ○引き続き、「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」に沿った事業を実施。	 ●札幌市民カレッジ講座（生涯学習センターとの連携事業）	教育委員会内方針「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施」  第3次札幌市生涯学習推進構想策定  図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施											



第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（平成30年度（2018年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度（2018年度）の取組結果（成果・課題）	参 考	取組時期（年度）										
						2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	
28-①	総務係	■ボランティアの活躍の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。</li> <li>◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。</li> <li>◆活動の場としての環境整備を行う。</li> </ul>	<b>【平成30年度（2018年度）取組結果】</b> ○随時活動の場を提供した。 平成30年度（2018年度）実績 9団体に対し研修室等の貸出を行った。	<b>【中央図書館研修室等の貸出件数の推移】</b> <b>138件（平成28年度末（2016年度末））</b> <b>→51件（平成29年度末（2017年度末））</b> ※閉館期間あり <b>→120件（平成30年度末（2018年度末））</b>	随時活動の場を提供を行う										
				<b>【令和元年度（2019年度）取組目標】</b> ○引き続き活動の場を提供する。		課題検討・運用方針・適用範囲の整理	登録制度開始	活動実態把握、今後の関わり方の検討								
28-②	えほん図書館	■ボランティアの活躍の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。</li> <li>◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。</li> <li>◆活動の場としての環境整備を行う。</li> </ul>	<b>【平成30年度（2018年度）取組結果】</b> ○ボランティア団体の活動の場として登録14団体による読み聞かせ会の開催（80回） ※H30年度（2018年度）：11団体から14団体へ登録団体増 ○えほん図書館サポーターにフロアワークや絵本の修理等のサポートをしていただいた。 ○えほん図書館サポーター向けに試行的に絵本の修理講座を実施	 ●サポーター向け「絵本の修理講座」	随時活動の場を提供を行う										
				<b>【令和元年度（2019年度）取組目標】</b> ○引き続きボランティア団体に活動の機会を提供していくとともに、えほん図書館サポーター向けの絵本の修理講座を継続開催し、絵本の修理が可能な人材を育成していく。		登録制度開始	・ボランティア活動の支援 ・交流会の実施 ・活動実態把握・発信、今後の関わり方の検討									
◆施策の方向性3◆ ー 将来に渡って持続可能な図書館運営 ー																
29	図書・情報館	■都心にふさわしい図書館の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆北1西1地区再開発事業として整備する「札幌市民交流プラザ」内に、札幌市図書・情報館を開設（平成30年度（2018年度）予定）するため、再開発準備組合が行う基本・実施設計との調整等を進める。</li> <li>◆図書館協議会等の意見を踏まえ、都心にふさわしい図書館の機能（対象、規模、運営体制、位置づけ等）の検討を進める。</li> </ul>	<b>【平成30年度（2018年度）取組結果】</b> ○図書やデータベースなどの資料面、ICタグを活用した蔵書管理等のシステム面、機能性にすぐれた備品などの環境面からの整備、外部機関との連携を積極的に進め、セミナー等の開催準備を行った。 ○内部の研修も積極的に進め、調査相談業務にあたる図書情報専門員の資質の向上にも努めるなど、必要とされる開館準備を行い、平成30年（2018年）10月7日（日）にオープンした。 ○開館後は、No4-②、8-②、12-⑤、13-③、27-③に記載の事業を行った。 ○平成31年2月末現在（開館から5か月）で、来館者は、約57万人	 ●図書・情報館2階（予約席）と自由席（奥）2019年3月撮影	市民交流複合施設 施設計画の検討 整備基本計画策定 調査研究 運営計画の検討 開設準備 供用開始										
				<b>【令和元年度（2019年度）取組目標】</b> ○令和元年度（2019年度）に実施する事業の詳細については、事業No4-②、8-②、12-⑤、13-③、27-③に記載のとおり。 ○予約席について、開館以降、時間帯によっては満席となり、利用者が座席を確保できない状況が生じている。座席予約システム運用の見直しなどによる利便性の向上を検討。 ○蔵書については、各分野の専門家の意見を選書に取り入れることなどによる資料の充実を図る。		再開発事業	基本計画	基本設計	実施設計	着工	工事	竣工				
30	総務係	■計画的な施設・設備の改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中央館・地区館の施設の課題点整理</li> <li>◆書庫拡大への検討・調整に伴う、施設整備計画（中央館：書庫増設や駐車場有理化の検討、地区図書館：エレベータ設置による会議室転用など書庫の配置を検討）の策定</li> <li>◆バリアフリーに対応した改修計画作成・実施 ◆保全計画など市関連部署の施策と連携した施設整備。</li> </ul>	<b>【平成30年度（2018年度）取組結果】</b> ○建築部と連携し、平成29年度から引き続き中央館大規模改修工事（建築）を行った。また、東札幌図書館（電気）、厚別図書館（建築、電気、機械）の保全・改修を行った。書庫スペースの確保についても、関係部署と引き続き調整を行った。	 ●工事期間中の厚別図書館臨時カウンター（駐車場部分にて）	中央館及び地区館のトイレ改修を実施 書庫増設に向けての調査 新築・元町・澄川でバリアフリー化実施 書庫増設に向けての検討 中央図書館大規模改修の検討 中央館大規模改修及び地区図書館の改修の実施 地区図書館の改修の実施										
				<b>【令和元年度（2019年度）取組目標】</b> ○隣図書館にて設備等の改修工事（建築、電気、機械）を行う。また、澄川図書館の保全工事を行う。書庫スペースの確保についても、引き続き埋蔵文化財センターや関係部署と調整していく。		関係部署・団体との協議	関係部署・団体との協議	中央図書館カウンター業務の臨時職員化	民間活力導入拡大の検討							
31	企画担当係	■民間活力導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆第2次札幌市図書館ビジョンに掲げるサービスを実現できるよう、民間活力の導入の効果と課題を配慮しながら、業務委託を検討していく。</li> </ul>	<b>【平成30年度（2018年度）取組結果】</b> ○平成30年（2018年）10月に開館した図書・情報館の1階カウンター運営についての業務委託を実施。	 ●札幌市図書館HP	関係部署・団体との協議 運営検討委員 中央図書館 民間活力導入拡大の検討										
				<b>【令和元年度（2019年度）取組目標】</b> ○民間活力導入の拡大について、その効果と課題に十分配慮しながら引き続き検討を進める。		HPによる継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施										
32	総務係	■図書、資料の充実に向けた寄付の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆図書資料の市民からの寄付喚起（ホームページや広報誌でのPR）</li> <li>◆図書購入費への充当を目的とした金銭の寄付喚起</li> <li>◆図書館備品等の寄贈の呼びかけ</li> </ul>	<b>【平成30年度（2018年度）取組結果】</b> ○HP掲載により寄付喚起を行った。 ○ふるさと納税の活用について検討を行った。	 ●札幌市図書館HP	HPによる継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施 HPに加えリーフレットの作成を検討し、継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施										
				<b>【令和元年度（2019年度）取組目標】</b> ○引き続きHP掲載により寄付喚起を行う。		HPによる継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施										

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（平成30年度（2018年度））

：検討                      ：一部（試行）実施                      ：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成30年度（2018年度）の取組結果（成果・課題） 令和元年度（2019年度）の取組目標	参 考	取組時期（年度）									
						2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2
33	調査 相談 係	<b>■職員の 研修体制 の充実</b>	◆市民対応等サービス向上のための基礎的な研修の実施 ◆業務の専門性を向上する研修の実施	<p>【平成30年度（2018年度）取組結果】</p> <p>○集合研修 広報企画研修、実践力研修（地域連携、医療健康サービス）、障害者サービス研修、児童サービス研修などを実施した。</p> <p>○派遣研修 ビジネス・ライブラリアン講習会（H26年度（2014年度）からの累計15名受講済）、医療健康情報サービス研修、障がい者サービス研修、全国図書館大会東京大会（出版流通・法情報）、レファレンス研修などに派遣した。</p> <p>○フィードバック研修 派遣研修受講者が各研修のポイントをピックアップして他の職員に伝えるフィードバック研修を実施した。また第20回図書館総合展の図書・情報館関連のセミナーの報告と「図書館広報のコツ」セミナーも同時開催した。</p> <p>【令和元年度（2019年度）取組目標】</p> <p>○集合研修では、図書館の規模に関わらず、幅広く必要な知識を身につける内容を実施する。派遣研修はそれぞれの担当の課題や必要なサービスに応じて実施し、職員の専門性を深めていく。加えて研修成果としての各館の取り組み事例をフィードバックする。</p> <p>○派遣研修のフィードバック研修をH30年度（2018年度）同様実施する。</p>	 <p>●研修の様子</p>	<p>モニタリング調査・接遇研修を実施</p>	<p>年度ごとに研修計画を立て、市民サービスの向上と業務の専門性の向上を図った</p>	<p>27年度と28年度は「えほん図書館」開設に向けた研修に傾斜配分して実施</p>	<p>29年度と30年度は「図書・情報館」開設に向けた研修に傾斜配分して実施</p>	<p>新規に開設した図書館でのサービス展開に合わせた専門研修を実施</p>	<p>コミュニケーション・医療・法律・福祉・障がい者向けサービス等の各分野について新規専門研修を実施すると共に、学校図書館との連携に向けた研修も取り入れる</p>				

- ※1 レファレンス：図書館が利用者へのサービスとして行う、情報提供や参考図書の紹介などの業務。
- ※2 バスファインダー：特定のテーマに関する資料や情報を収集するための手順を簡単にまとめたもの。
- ※3 ビブリオバトル：参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたい本を投票で決めるイベント。
- ※4 CISE：北海道大学総合博物館を中心とした、札幌市周辺地域にある教育施設等で科学技術コミュニケーション活動を推進するネットワーク。